



防災おやまだ。 平成18年9月15日発行



今年は、集中豪雨や河川の氾濫、土砂災害などが多く発生しています。 小山田地区では、震度6弱の直下型大地震が発生したと想定した防災訓練が、 8月27日(日)小山田小学校で行われました。さる7月19日には、小山 田防災連絡協議会も発足し、初の訓練となりました。各町自治会、自主防災 隊、民生委員、交通安全小山田支部、婦人会、老人会、消防団小山田分団な ど、関係の団体から約150人が参加しました。サイレンを合図に婦人会の 炊き出しをはじめ、消防分団の指導による救出救護、放水、天ぷら火災によ る初期消火のほか、西山町の昭和18年度製、手動汲み上げ式の人力による 消火ポンプの放水もありました。いざという時に備え、身を守る初歩訓練も しました。

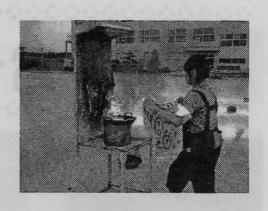
"地域のみんなで助け合おう 備えあれば憂いなし!"

初期消火訓練

消火器のかまえ方

- ・ 屋外で使用する場合、風上から消火する
- ・ 低い姿勢で熱や炎を避けるようにして除々に近づく
- ・ 炎や煙にまどわされずに火元にノズルを向け、 火元を掃くように左右に振り消火する





てんぷら火災の時

- ・ ぬれタオル (大判) を使ってなべ全体を
- すぐにタオルをとらずに充分時間をおいる をとるように(なべが冷えたあと)

小山田 **防災**記地 区

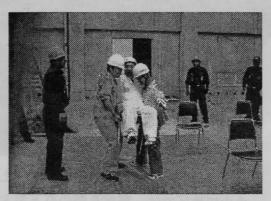
救助訓練



椅子を使ってけが人を より安全に運びます



切り出した竹と毛布を使って 担架を作りました





炊き

まきを (防災 西山町自主防災隊による市内でも現存するものが 数少ない「手押しポンプ」を使っての放水が行われた

放水訓練



うようにタオル



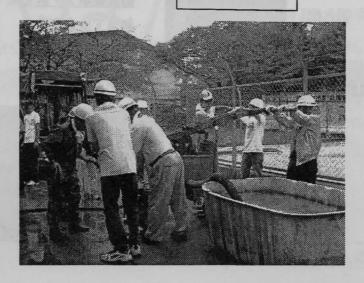
果

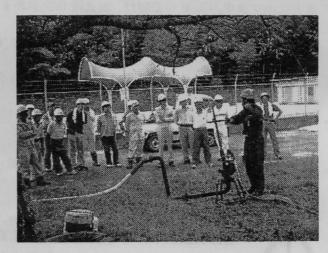
が行われました



って火をおこし、ハイゼックス 次飯用袋) で、お米の炊き出しを行う







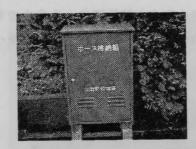


☆消火栓は初期消火に有効です。

消火栓

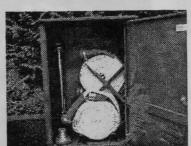


<u>消火栓ボックスを</u> <u>知っていますか</u>



消火栓ボックスの中には次のような器具が入っています

- 筒先
- ・ ホース2~3本
- ・ 消火栓ハンドル
- 媒介(ホースの口 径調整金具)



消火栓の使い方

- 1、消火栓のフタをハンドルで開け、消火栓ハンドルを差し込みます
- 2、ホースを延長、結合し、筒先(管槍)も結合します
- 3、消火栓とホースをつなぐ (口径が合わない場合媒介を使用)
- 4、「放水はじめ」の合図でハンドルを左にゆっくり回し全開し 少しもどします
- 5、放水・消火します (水の圧力は思ったよりも強いので、 筒先は二人でしっかりと持ってください)









消火栓はだれでも使用可能ですが、一人では危険です。いざという時には協力し合って作業を行ってください。(最低二人必要)

■編集後記

防災訓練には、早朝よりご参加いただき、誠にありがとうございました。いまさら申すまでもなく、防災対策は行政や関係機関だけで実施できるものではありません。地区住民の協力のもと官民が一体となって、平素から取り組んでいくことが大切であると考えています。訓練にあたり、最後まで熱心に参加され、無事終了することができました。これもひとえに、本訓練のため、早くから準備された消防分団、婦人会、自治会の方々、訓練に参加された多くの皆様の防災に対する深い認識とご理解の賜物と心よりお礼申します。この訓練を機会に各町自治会および、ご家庭や職場におかれましても、今後とも一層の防災意識の高揚に努められますよう、お願いし、お礼といたします。

小山田地区防災連絡協議会会長 萩 伸元